

## 広報・教育部門

# 北九州市下水道 100 周年記念事業有志職員による 広報活動について

北九州市

本市の下水道事業は、平成 30 年に 100 周年を迎え、「下水道展'18 北九州」や下水道施設見学会など、市民参加型のイベントを約 20 の事業を実施しました。

市民の方々に改めて下水道の役割や重要性を知っていただくための記念事業であるため、事業自体の PR も重要と考え、意欲のある職員を職種に関係なく局内から広く募集し「PR 隊」を結成、PR 隊のチーム名は、各メンバーが下水道や記念事業に対する想いや願いにより、「ありったけの下水道の魅力を伝え隊（ありったけの「あ」下水道の「げ」をとり、通称；あげ隊）」と決定しました。

33 名のチームを PR の内容や PR 媒体ごとに 10 人程度のチームに分けて活動し、「屋外 PR チーム」、「紙媒体チーム」、「メディアチーム」の 3 チームに分け、PR を展開しました。



### PR ポイント！

PR 隊による紙面や SNS の活用、チラシ配布によるイベント告知、こども下水道新聞への掲載などの活動は、大人から子どもまでわかりやすく下水道事業を紹介することができました。

PR 隊の活動を通じて、メンバーが、自身の担当以外の仕事内容について学ぶ機会が増えるなど、下水道への思いや仕事へのモチベーション向上などにつながりました。

### 取組の効果！

アンケートでは、9 割以上の方が下水道の仕組みや役割について理解が深まったと回答。特に、下水道の未来を担う子どもたちから、「下水道は見えないところでがんばっている『緑の下の力持ち』」、など、発見や驚き、感謝の声など多くのコメントをいただき、「PR 隊」はイベントの集客増や下水道に対する市民理解の促進に大きく貢献したと考えています。

### Key Person



上下水道局下水道計画課主査  
藤井 信也

「PR 隊」は、結成当初はとまどいもあったが、全体の企画会議は月に 2 回程度（計 12 回）、各チームのミーティングは毎週行い、メンバーが団結して自ら企画・立案した PR 事業を率先して実行することで大きな成果を上げたことは、これからの下水道技術を支える職員の人材育成に貢献できたものと考えています。

記念事業の期間にとどまらず、今回の活動経験を活かしながら、今後も継続して効果的な広報・PR 活動を実施し、下水道事業に対する市民の理解をさらに深めていきたいです。